

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.182)

1. 所長就任のごあいさつ

“みなさん、ご安全に”

本年5月1日付けで豊田PCB処理事業所長に就任いたしました青木仁志と申します。お陰様をもちまして、当PCB処理事業所も平成17年9月の操業から15年目を迎え、トランス・コンデンサの処理進捗も約90%となってきました。これもひとえに地元の皆様のPCB廃棄物処理事業へのご理解の賜物と深く感謝しております。

私にとって4つ目の事業所勤務となりますが、無事故無災害、安全を第一として、初心に戻って業務に精勤してまいりたいと存じます。

改めまして、豊田PCB処理事業所所員一同、安全で確実な処理を行い、PCB廃棄物の早期処理に向けて取り組んでまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2. 安全協会会長表彰式

5月15日(水)、名鉄豊田ホテル7階金扇の間にて、豊田市防火危険物安全協会より、優秀防火管理者として副所長 酒井祥亘さん(写真左)と優秀危険物取扱者として運転会社分析グループ長の池田俊之さん(写真右)が表彰されました。



この表彰は、事業所において永年防火管理者や危険物取扱者として施設や消防設備の危険物の保安管理を実施した業績を評価されたものです。

当日は、定期総会で団体・個人を含め35名の方の表彰が行われました。また、来賓の挨拶として豊田市副市長も出席され、日ごろの防火・危険物管理に対して感謝の言葉を述べられ、今後のさらなる管理について話されました。

今後も、事業所の防火・危険物管理を徹底し、安全安心な事業活動を継続していきます。

3. 官公庁による豊田PCB処理事業所視察

5月8日に静岡県と静岡市、13日に名古屋市、22日に豊田市による視察が行われました。

静岡県と静岡市の視察では、静岡県庁くらし・環境部の部長代理、廃棄物リサイクル課から課長を含め6名、PCB廃棄物保管事業者の直接の担当窓口である地域(賀茂・東部・中部・西部)健康福祉センターから7名の計14名の方が、静岡市からは廃棄物対策課5名の計19名が参加されました。視察時の質疑応答では、「PCBの分解には触媒を用いるのか」、「コンデンサーの処理費用と補助割合」等様々な質問をいただきました。

(右は見学通路から当施設内を視察される様子)



名古屋市の視察では、名古屋市内のPCB廃棄物を始め産業廃棄物処理に係る担当窓口である廃棄物指導課を始め、ごみ処理施設の管理、ごみ減量、ごみ資源化などを担当されている各部署から19名の方が参加されました。

PCB処理施設の視察は初めての方が多く、視察中や視察後の質疑応答では、「SDとはなにか」、「運転員は何名ほどいるのか」、「どのような交替勤務体制、時間で勤務しているのか」などの活発な質問をいただきました。

(左は見学通路で当施設内を視察される様子)



豊田市役所の視察では、環境部の新任職員研修として、10名が参加されました。

初めにプレゼンテーションルームで、豊田PCB廃棄物処理施設のビデオを見ていただきました。その後、見学者通路から、実際のPCB廃棄物の受入・保管、抜油・解体、洗浄・分離、無害化処理・払出しなどの設備と処理の状況を視察され、メモをとりながら熱心に見学されました。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

